

単元名 書いた文章を読み返し、分かりやすい文章にしよう  
 ～紹介文を推敲しよう～

テキスト 「文章の推敲・原稿用紙の使い方」(光村 一年)

一 指導事項

第一学年「B書くこと」エ

書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。

二 単元の評価規準

<p>ア 国語への関心・意欲・態度</p>	<p>イ 書く能力</p>
<p>① 問題点を含んだ文や文章および自分が書いた紹介文を読んで、表記や語句の用法などを書き直そうとしている。</p> <p>② 目的や相手に応じた内容の分かりやすさを理解し、相手にとって分かりやすい文章に書き直そうとしている。</p>	<p>① 問題点を含んだ文や文章および自分が書いた紹介文を読んで、推敲箇所を指摘し、適切に書き直している。</p> <p>② 推敲の観点を理解し、他の意見や他の文章のよいところも参考にして、自分の書いた文章を、目的や相手に応じた分かりやすい文章に書き直している。</p>

三 単元について

〇 本単元の指導事項として、第一学年「B書くこと」エ「書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること」が位置付けられる。本指導事項は、読み手である相手の立場に立って、自分の書いた文章を客観的に見直し、誤字脱字がないか、分かりやすい表現になっているかを確認・修正するもので、書く力を伸ばし、日常の言語生活に生かすための基礎を培うものである。

〇 生徒は、九月に単元「目的や相手を考えて分かりやすい紹介文を書こう」で、小学校六年生を対象とする中学校説明会で〇〇中学校の学校生活についての紹介文を書く学習を経験している。テーマの設定、題材集め、題材の選択整理、構成の決定と順を追って学習するなかで、約九割の生徒は自力で、一割の生徒は個別の指導を得て、紹介文を仕上げる事ができた。しかし、表記や語句の用法、叙述の仕方については個人差が大きく、「おおむね満足できる」紹介文を書けたのは全体の七割程度の生徒に留まった。推敲についての学習及び思考や内容の深化を図る工夫が課題である。

〇 以上の点から、単元「書いた文章を読み返し、分かりやすい文章にしよう」を設定する。指導にあたっては、まず、問題点を含んだ文や文章をもとに、推敲の観点や実際について理解させ、自分が書いた紹介文を、表記についての観点にそって推敲させる。次に、目的や相手に応じた内容のわかりやすさを支える要素を確認させる。さらに、同じテーマについて作文した生徒のグループで互いの紹介文を読み合うなかで、気付いた点をアドバイスし合ったり、自他の文章を比べたりしながらよりよい表現を目指させたい。



四. 単元の指導計画・評価計画

指導事項 1年Bエ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。

- 単元の評価規準
- 問題点を含んだ文や文章および自分の書いた紹介文を読んで、表記や語句の用法などを書き直そうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
  - 目的や相手に応じた内容の分かりやすさを理解し、相手にとって分かりやすい文章に書き直そうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
  - 問題点を含んだ文や文章および自分の書いた紹介文を読んで、推敲箇所を指摘し、適切に書き直している。(書く能力)
  - 推敲の観点を理解し、他の意見や他の文章のよいところも参考にして、自分の書いた文章を、目的や相手に応じた分かりやすい文章に書き直している。(書く能力)

配時	具体的評価規準 (評価の方法)	学習活動(言語活動)	指導上の留意点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く、書く、読む、知識・理解・技能)	
				期待する姿	おおむね満足できる状況【B】	十分満足できる状況【A】
1	<p>関：推敲の観点に基づき、例文の問題点を考えようとしている。 (様相チェック)</p> <p>書：例文の推敲箇所を指摘し、適切に書き直している。 (ワークシート1分析)</p>	<p>1 学習のねらいや流れを確認する。 (学習計画)</p> <p>2 問題点を含んだ例文を提示し、推敲箇所を赤ペンで書き直す。 (ワークシート1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に気付かせたい問題点を意図的に含んだ例文を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例文の問題点を数多く探そうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの例文の問題点を指摘している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの例文の問題点を指摘し、正しく書き直している。</li> </ul>
1	<p>書：自分の紹介文の表記面について推敲の観点を理解し、正しく書き直している。 (ワークシート2分析) (紹介文の推敲分析)</p>	<p>3 表記面の問題を含んだ作文で推敲の練習をする。 (ワークシート2)</p> <p>4 自分の紹介文をワークシート1の観点から推敲する。その後、友人と交換して確認し合う。(紹介文)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿用紙に書かれた共通の作文を提示する。</li> <li>事前に書いた紹介文を使う(小学校6年生対象の中学校説明会で学校生活について紹介する原稿)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>推敲の観点に基づき、自分の紹介文の表記面における問題点に気づき、修正している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の紹介文の表記面における問題点に気づき、推敲の観点をとらえて適切に修正している。</li> </ul>
1 本時	<p>書：書いた紹介文を読み合い、目的や相手に応じた内容の分かりやすさについて理解している。 (ワークシート3分析) (様相チェック)</p>	<p>5 今回の紹介文の条件に合った分かりやすさの要素を知る。 (紹介文の例)</p> <p>6 同じテーマのグループで紹介文を読み合い、分かりやすさについて、よい点と改善点を指摘し合う。 (ワークシート3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対照的な二つの紹介文を提示して分かりやすさの要素に気付かせ、相互批評の仕方のモデルを示す。</li> <li>付箋を2色用意して、よい点と改善点で色分けさせる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>友人の書いた紹介文の分かりやすさについて適切な助言をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友人の書いた紹介文の分かりやすさについて適切な助言をし、具体的な例を示している。</li> </ul>
1	<p>書：伝えたい事実や事柄が、相手に応じて適切で効果的に表現されているか吟味している。 (紹介文の最終推敲分析)</p> <p>関：文章の分かりやすさについて学習したことを自分の文章に生かそうとしている。 (ワークシート4記述分析)</p>	<p>7 自分の紹介文のよさと改善点を整理する。 (ワークシート4)</p> <p>8 7をもとに自分の紹介文に最終推敲を加える。 (紹介文)</p> <p>9 学習の振り返りをする。 (ワークシート4記述)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすさの要素に基づいて付箋を分類させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に応じて分かりやすい文章に推敲するための観点を理解し、それを今後の学習に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすさの観点から受けた助言をもとに、自分の紹介文の改善点を修正している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすさの観点から受けた助言に自分の判断も加えて自分の紹介文の改善点を修正している。</li> </ul>

☆Cの状況の生徒への手だて  
具体的な助言の仕方の例をプリントにして提示する。

1 本時の具体の評価規準・評価方法

書いた紹介文を読み合い、目的や相手に応じた内容の分かりやすさについて理解している。  
 〈ワークシート3分析〉〈様相チェック〉

2 資料等

- ①カード・掲示プリント ②全体用・③各班用・④ワークシート3

3 本時の指導計画・評価計画

過程	学習活動・内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     主な言語活動                 </div>	指導上の留意点	資料	Aの状況・Bの状況 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     Cの状況の生徒への手立て                 </div>	形態	配時 分
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の目標を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     めあて                      分かりやすい紹介文にするためにアドバイスし合おう。                 </div>	○ 作文テーマ別に、6グループに分けておく。 (部活動・自然教室・服装・体育大会・授業・定期考査)		Aの状況・Bの状況	一斉	2
展開	2 小学校6年生に、分かりやすい紹介文とは、どのようなものか予想する。 3 アドバイスをする観点を確認する。 ・相手(小学校6年生)に理解できる言葉 ・中学校生活の場面や様子の詳しさ ・小学校生活との比較 等 4 グループごとに読み返しをして、アドバイスの内容を付箋に書きワークシート3に貼らせる。 ・よい点 ・改善点	○ 自分が工夫した点を発表させる。出た項目を掲示する。 ○ 二つの例文を掲示し、分かりやすさの要素を確認する。 (掲示プリント)	① ② ③	A 友人の書いた紹介文の分かりやすさについて適切な助言をし、具体的な例を示している。 B 友人の書いた紹介文の分かりやすさについて適切な助言をしている。	一斉	15
まとめ	5 本時のまとめ・次時の予告を聞く。	○ 自分の書いた紹介文の課題を発見しやすいうように、付箋の色を「よい点」と「改善点」で分け、貼らせる。 ○ 次時は、ワークシート3に貼られた付箋を基に自分の文章の改善すべき内容について考えワークシート4に記入することを伝える。	④	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     Cの状況の生徒への手だて                      具体的な助言の仕方の例をプリントにして提示する。                 </div>	個人	30
					個人	3